

平成29年度 全国学力・学習状況調査 上富良野町の結果について

平成29年9月19日
上富良野町教育委員会

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象学年

町内小学校第6学年、町内中学校第3学年 原則として全児童生徒

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査の期日 平成29年4月18日（火）

5 調査を実施した学校・児童生徒数(全国悉皆調査)

	上 富 良 野			全 道			全 国		
	学校数	実施率	人数	学校数	実施率	人数	学校数	実施率	人数
小学校	3	100%	84	971	93.1%	35,802	19,456	99.4%	999,723
中学校	1	100%	104	559	93.5%	37,265	9,539	99.1%	982,811

II 調査の結果

※ 今回の調査で測定できるのは「学力の特定の一部」であり、子どもの学力の全てでないというおさえに立っています。

1 児童生徒の学力の状況について

小学校は、国語A・B、算数Aが全国平均正答率をやや下回り、算数Bが全国平均正答率より下回った。昨年度に比べ、国語・算数Aが全国平均正答率との差が小さくなってきている。中学校は、国語Aが全国平均正答率をやや下回り、国語Bが全国平均正答率を下回った。数学A・Bは全国平均正答率とほぼ同様である。国語は、全国平均正答率との差が昨年度より広がり、数学は上回っている数値が小さくなっている。

(1) 小学校

科 目	全道平均	全国平均	全国に対する上富良野町の平均正答率
国語A(主として知識)	73.7	74.8	全国平均正答率をやや下回る
国語B(主として活用)	56.3	57.5	全国平均正答率をやや下回る
算数A(主として知識)	77.3	78.6	全国平均正答率をやや下回る
算数B(主として活用)	43.5	45.9	全国平均正答率より下回る

(2) 中学校

科 目	全道平均	全国平均	全国に対する上富良野町の平均正答率
国語A(主として知識)	76.7	77.4	全国平均正答率をやや下回る
国語B(主として活用)	71.7	72.2	全国平均正答率より下回る
数学A(主として知識)	63.7	64.6	全国平均正答率とほぼ同様
数学B(主として活用)	46.9	48.1	全国平均正答率とほぼ同様

※上記の基準 「上回る」 +3以上 「やや上回る」 +1～+3
「ほぼ同様」 ±1
「下回る」 -3以下 「やや下回る」 -1～-3

2 児童生徒質問紙の傾向について

※共通質問のうち、特徴のあるものを抜粋しています。

※質問項目は

- (1) 家庭での生活・学習について
- (2) 学校での生活・学習について
- (3) 関心・意欲・態度について
- (4) 読書について でまとめています。

※ 数字は%、「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な割合の合計です。

※ は全国平均より(+5)以上、は全国平均より(-5)以下を表しています。

(1) 家庭での生活・学習について

家庭生活について、小・中学校とも概ね基本的な生活習慣が身につけている。小学校においては、宿題だけではなく計画的に家庭学習する児童が増えている。学校以外で1時間以上学習する児童が全国平均とほぼ同様。中学校では1時間以上学習する生徒が21.1%低い。

平日のテレビゲーム、携帯・スマホに費やす時間が、中学校では多くなっている。また、長時間にわたって携帯電話やスマートフォンで通話・メール等をする割合が高くなっている。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
朝食を毎日食べている	93.6	95.4	93.2	93.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	81.0	79.8	87.4	75.6
毎日、同じくらいの時刻に起きている	86.7	91.2	93.2	92.4
家で、計画を立てて勉強している	78.5	77.5	38.9	51.5
家で、宿題をしている	98.7	96.9	89.3	89.5

○平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか？(学校の授業以外で学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む)

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
小学校	2.5	15.2	46.8	30.4	5.1	0.0
全 国	11.9	15.2	37.3	24.3	8.4	2.9
中学校	1.9	15.5	31.1	29.1	13.6	8.7
全 国	10.1	25.3	34.2	17.2	8.3	4.9

○平日、1日当たりどれくらいの時間、TVやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか？

	4時間以上	4～3時間	3～2時間	2～1時間	1時間以下	全くしない
小学校	6.3	19.0	21.5	36.7	12.7	3.8
全 国	16.6	16.1	23.0	27.3	14.8	2.1
中学校	13.6	13.6	30.1	24.3	18.4	0.0
全 国	12.0	13.3	23.8	30.1	18.3	2.4

○平日、1日当たりどれくらいの時間、TVゲーム(コンピュータ・携帯式ゲーム含む)をしますか？

	4時間以上	4～3時間	3～2時間	2～1時間	1時間以下	全くしない
小学校	8.9	12.7	13.9	24.1	29.1	11.4
全 国	9.3	8.3	13.5	24.4	30.4	14.0
中学校	11.7	18.4	18.4	22.3	19.4	8.7
全 国	11.4	10.0	16.2	21.4	24.3	16.0

○平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？(携帯電話やスマートフォンでゲームをする時間は除く)

	4時間以上	4～3時間	3～2時間	2～1時間	1時間以下	持っていない
小学校	1.3	3.8	12.7	11.4	29.1	40.5
全 国	3.8	3.2	5.0	8.5	42.7	36.7
中学校	12.6	12.6	18.4	13.6	22.3	20.4
全 国	9.6	8.6	14.1	18.2	33.5	16.1

(2) 学校での生活・学習について

「学校へ行くのが楽しい」が、小学校で全国平均を上回った。「学校のきまり（規則）を守る」については、小・中学校で全国平均より上回った。

授業では、小学校は、各教科・総合、主体的学習態度・発表・話し合い・めあて・振り返りとも高く、中学校では、学習のめあて以外が低くなっている

部活動については、ほとんどの生徒が所属し、80%以上が2時間以上活動している。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
学校に行くのは楽しい	94.9	86.3	70.8	80.9
学校で友達に会うのは楽しい	98.7	96.4	94.1	94.7
学校のきまり（規則）を守っている	97.4	92.6	100.0	94.7
将来の夢や目標を持っている	88.6	85.9	75.8	80.5
好きな授業がある	97.4	93.0	73.8	79.3
国語の勉強は好き	72.1	60.5	53.1	60.3
国語の授業の内容はよく分かる	89.8	82.2	74.7	74.9
算数・数学の勉強は好き	65.8	65.9	36.9	55.2
算数・数学の授業の内容はよく分かる	84.8	80.6	63.2	69.4
総合で、課題・情報収集・発表に取り組んだ	72.1	69.8	59.2	64.3
授業で、課題に対し自ら考え・取り組んだ	86.1	77.9	75.7	74.9
授業で、考えを発表する機会が与えられていた	94.9	84.7	78.6	84.4
授業で、友達と話し合う活動をよく行った	93.6	84.5	60.2	81.8
授業で、目標（めあて・ねらい）が示されていた	93.7	88.2	95.1	87.8
授業で、最後に振り返る活動をよく行った	83.5	76.2	56.4	65.9
授業で、地域を調べ・人と関わる機会があった	70.9	70.4	41.8	53.7
部活の所属（運動・文化）			95.1	86.6

○平日、どれくらいの時間、部活動しますか？

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
中学校	6.8	73.8	15.5	0.0	1.0	2.9
全 国	11.6	44.0	28.4	3.2	0.9	11.5

(3) 関心・意欲・態度等について

規範意識や自尊感情など、小・中学校とも全国平均よりも上回っている。
 地域行事への参加など、地域との関わりが減少している。
 いじめには、小学校96.2%㊦ 3.8%㊧、中学校77.7%㊦ 14.6%㊧と、
 どんな場合でも100%には届いていないが、高くなっている。
 国際理解は、中学校で2項目とも全国平均を下回っている。特に自分から進んで関わろうとする項目が低い。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
最後までやり遂げうれしかったことがある	94.9	87.8	95.2	94.7
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	87.4	77.4	70.9	71.0
自分には、よいところがあると思う	79.8	77.9	70.0	70.7
新聞を読んでいる(ほぼ毎日と週1~3回)	15.2	21.0	21.3	14.9
地域や社会の問題や出来事に関心がある	68.3	63.9	63.1	59.2
地域行事に参加している	55.7	62.6	29.1	42.1
人が困っているときは進んで助けている	91.1	85.3	90.3	84.4
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	100.0	96.1	92.3	95.8
人の役に立つ人になりたい	94.9	92.5	91.2	91.9
外国の人と友達になったり、もっと知りたい	72.1	70.4	38.8	64.3
外国に留学したり、国際的な仕事につきたい	25.3	33.6	19.4	32.9

(4) 読書について

小・中学校とも、「読書は好き」が全国平均より5%程度高くなっている。
 「読書時間」は10分以下が小学校で36.7%、中学校で48.4%と多い。
 図書館・図書館の利用も年数回以下が、小学校で72.1%、中学校で88.4%と極めて多い。

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
読書は好き	79.7	74.3	74.8	69.9

○平日、家や図書館で、1日当たりどれくらいの時間読書しますか？

	2時間以上	1~2時間	30~60分	10~30分	10分以下	全くしない
小学校	2.5	12.7	17.7	30.4	17.7	19.0
全 国	6.9	9.9	19.7	26.8	16.1	20.5
中学校	8.7	1.0	10.7	27.2	13.6	38.8
全 国	5.7	8.3	15.2	22.2	12.8	35.6

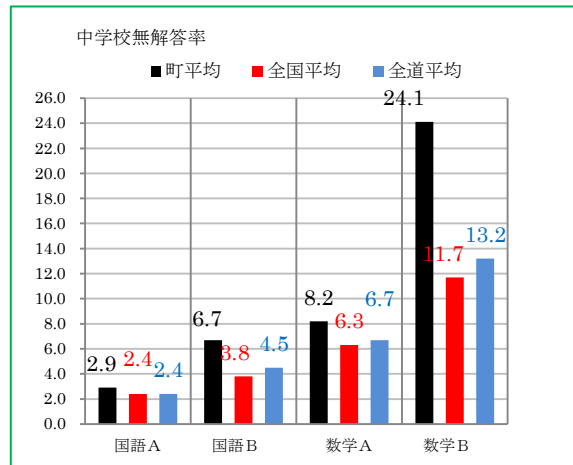
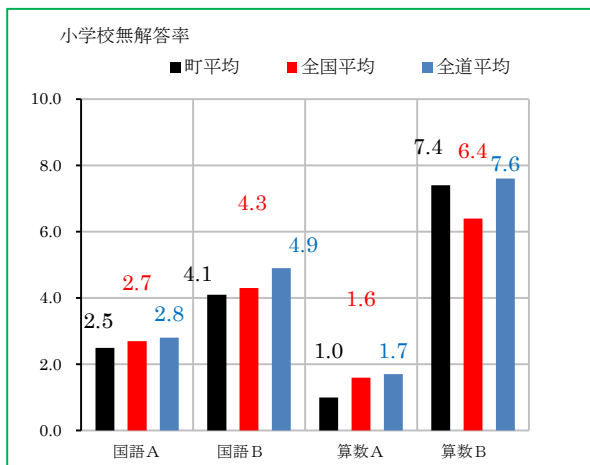
○平日、本を読んだり借りたりするため、学校の図書室や町の図書館にどれくらい行きますか？

	週4回以上	週1~2回	月1~3回	年数回	全く行かない
小学校	0.0	8.9	19.0	44.3	27.8
全 国	3.0	12.6	23.0	28.6	32.4
中学校	0.0	4.9	6.8	24.3	64.1
全 国	2.2	5.9	11.3	22.5	58.0

3 児童生徒の無解答の状況について

小学校は、国語A・B、算数Aで無解答が全国平均より少なくなっている。算数Bは全国平均より1%多いが、全道平均よりも少ない。問題に対し最後まで粘り強く解答する傾向が見られる。

中学校は、国語A・B、数学A・Bとも無解答が多く、特に数学Bは全国・全道平均の約2倍と高くなった。最後まで解答する努力が必要となっている。



4 学校質問紙の傾向について

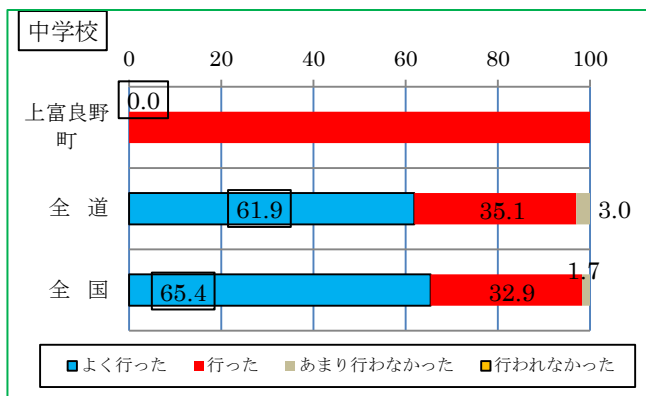
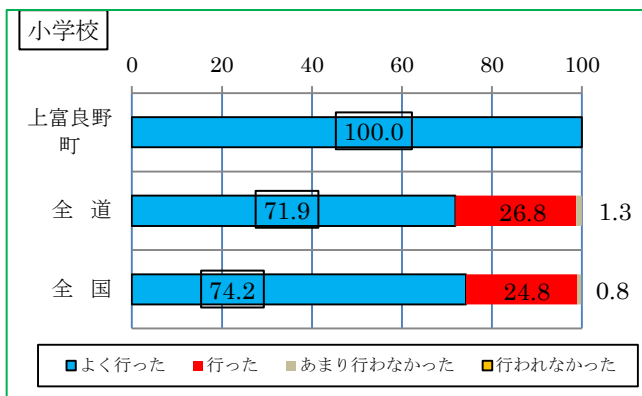
「学習内容の定着を図る指導（目標・振り返り）の工夫」は、小学校では計画的に進めている。

「主体的な態度を育む指導（資料の活用、発表、発言）の工夫」は、小学校・中学校とも進めている。

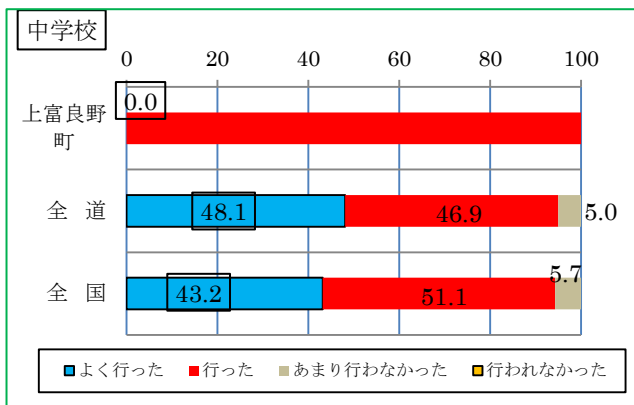
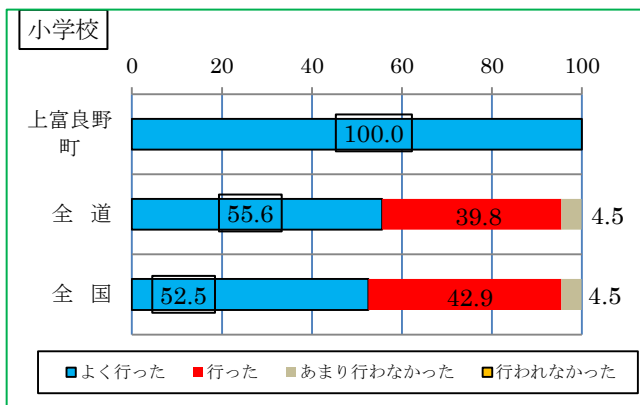
「地域等の物的資源等の活用や地域の人々が関わる学習」は、小学校・中学校ともおこなわれているが、全国・全道平均を下回っている。

「家庭学習についての指導」「特別支援教育への理解や特性に応じた指導の工夫」は、小学校・中学校とも進めている。

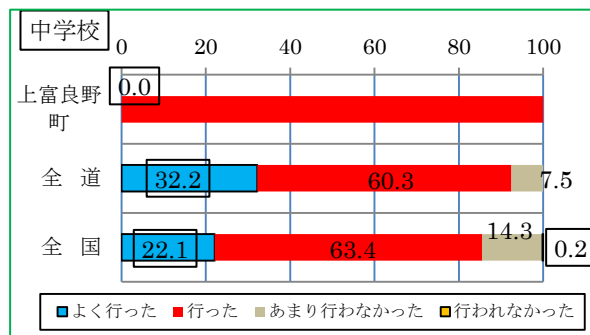
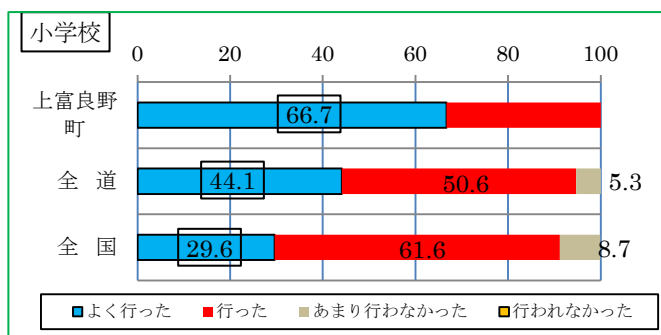
(1) 授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に行っているか



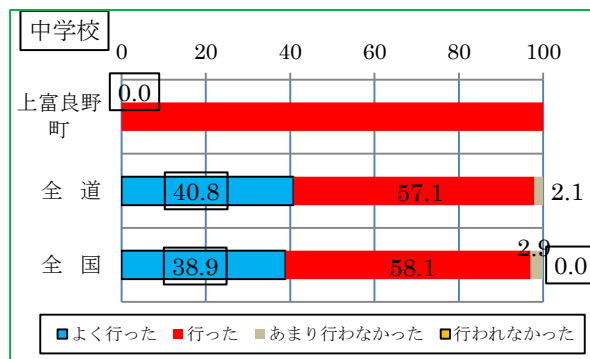
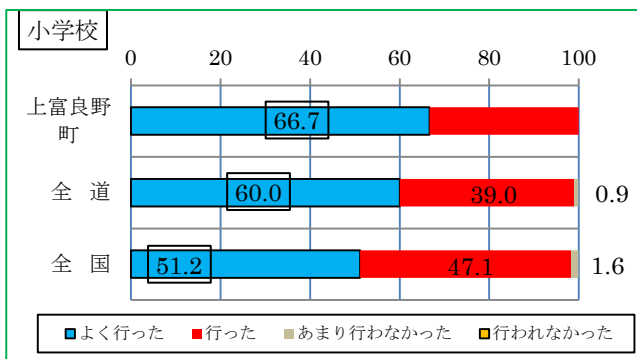
(2) 授業の最後に学習したこと振り返る活動を計画的に取り入れましたか



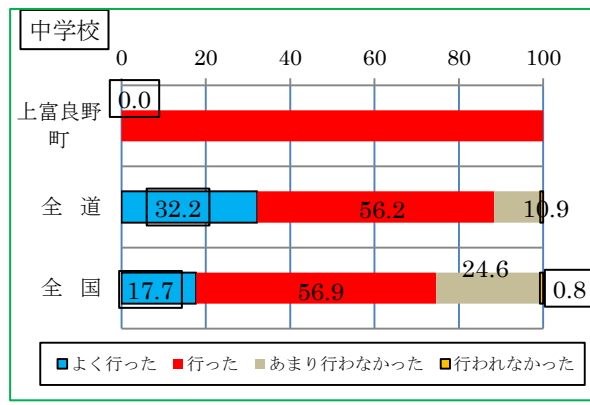
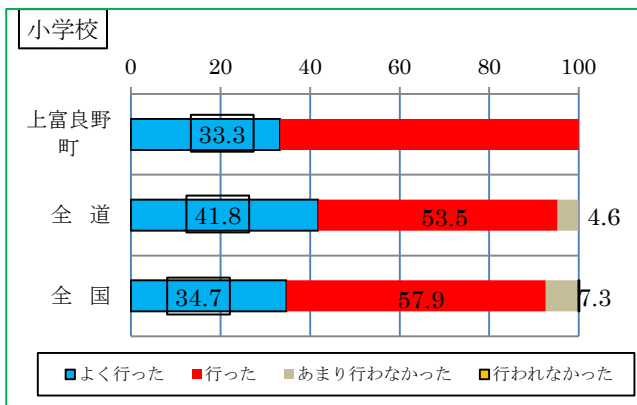
(3) 資料を使って発表ができるよう指導しましたか



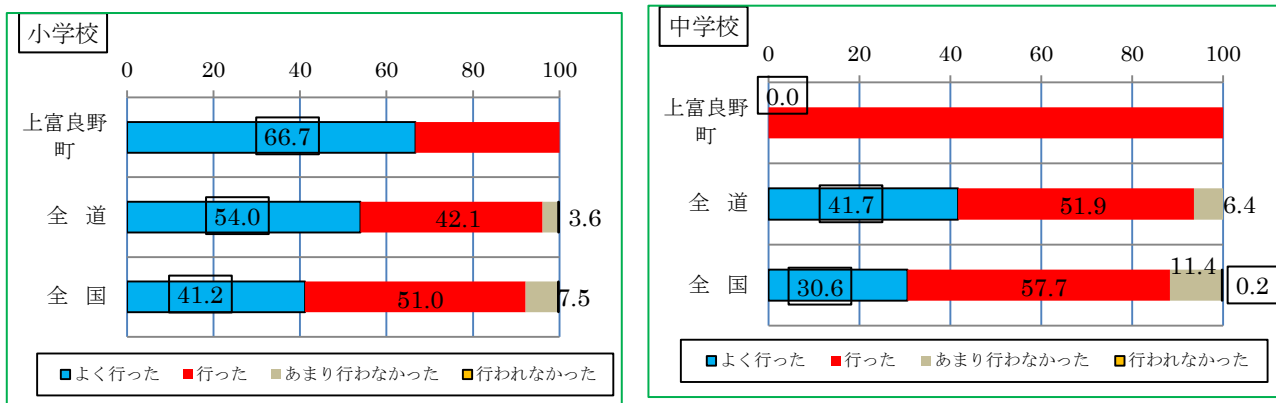
(4) 発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



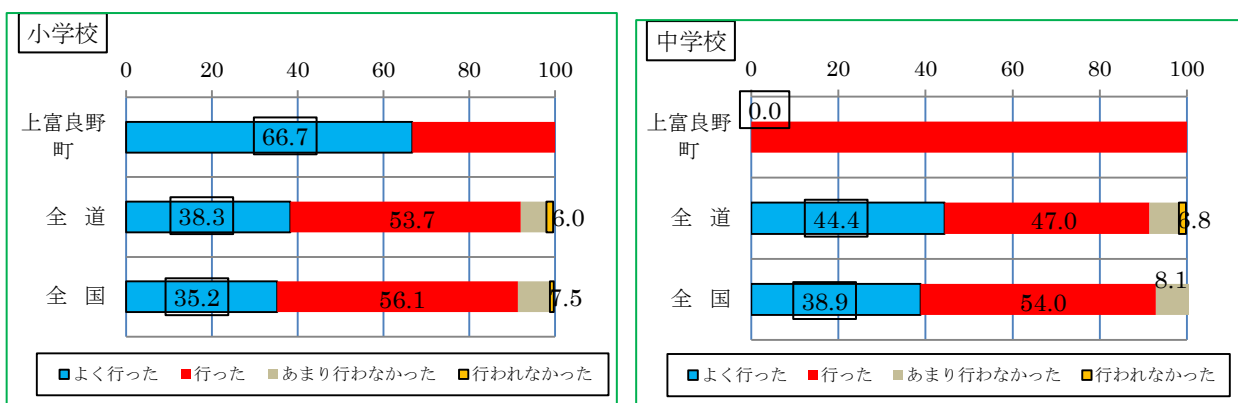
(5) 地域等の人的・物的資源等を活用していますか



(6) 児童に家庭での学習方等について具体例を挙げて教えていますか



(7) 教員は、特別支援教育について理解し、特性に応じた指導の工夫(板書、説明、教材の工夫等)を行っていますか



Ⅲ 現状と今後の取組

1 小学校では、国語・算数 AB 問題とも全国平均正答率を下回っている。国語への「漢字を読む・書く」は高く、A 問題については着実に全国平均に近づいている。また、「無回答率」が低く、問題に答えようという意欲が高く、粘り強く取り組む態度が身についてきている。

中学校では、国語が全国平均正答率をやや下回り、数学が全国平均とはほぼ同様である。数学は、ここ数年、全国平均を大きく上回っていたが、今年度はわずかに上回ったにとどまった。

小学校では全問正解グループが少なく、中学校では国語・数学とも中位層グループが多く、学習内容の確実な定着不足がみられる。学習規律の徹底や授業内容の充実、指導方法の工夫改善、重点指導内容の精選など、「確かな学力育成プラン」を見直し、児童生徒の実態に即した様々な取り組みを着実に実施していく必要がある。

2 基本的な生活習慣が身についている児童生徒が多い。平日の家庭での学習時間が1時間以内の児童生徒が、小学校では35.5% (全国35.6%)、中学校では51.5% (30.4%)と、中学校で学習時間が少なくなっている。中学生は、TV・ビデオ等の視聴や、TVゲーム、携帯電話・スマホ等によるメール等に費やす時間が多い。

保護者と連携した取り組み(家庭学習、携帯・スマートフォンの利用<ゲーム、SNS、インターネット)や、教育委員会で作成している「家庭学習のすすめ」や各学校の「家庭学習の手引き」、「生活リズムチェックシート」を活用した取り組みを計画的に進める必要がある。

3 小学校では、学校・友達・授業についての項目で全国平均を上回っている。中学校では、友達・部活動についての項目が高い。一人一人に応じたきめ細やかな指導により、児童生徒が充実した学校生活の過ごしていることがみられる。95.1%の生徒が部活に所属し、80%以上が2時間以上部活動に参加している。

各種研修を通じた「進んで学び」「互いに交流する」授業の工夫や、「学ぶことが楽しい」、「将来の夢や目標がある」と児童生徒が実感できる体験的な活動の工夫、部活動についての生徒・保護者・学校の考え方を共有（時間・内容等）していく必要がある。

4 小・中学校ともに規範意識や自尊感情が高く、他者に対する思いや行動に表れている。地域行事への参加、外国への留学・国際的な仕事など、家庭や学校以外へ自ら進んで関わることが少ない。

総合的な学習の時間への授業参加や授業協力など、地域の方々と関わる活動を工夫や、キャリア教育や国際理解教育などを進める必要がある。

また、町においても、グローバル化に対応する青少年育成のための方策を工夫する必要がある。

5 小・中学校ともに「読書が好き」が全国平均を上回っているが、全国平均と同様「読書時間」や「図書室・図書館の利用」は少ない。

学校・町全体で読書に親しむ習慣づくりを進める必要がある。